

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業  
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る  
事後評価コメント

研究開発課題名	Molecular mechanisms by which HIV-1 acquires resistance to second-generation integrase strand transfer inhibitors
研究開発機関名	国立病院機構名古屋医療センター
研究開発代表者名	蜂谷 敦子

指摘事項

● 評価できる点

HIV 治療薬の初回治療で推奨されている、第2世代インテグラーゼ阻害剤 (INSTI) に対する新規の耐性変異を明らかにした意義は大きい。既に論文発表も行っており、今後の抗 HIV 治療薬の開発や治療法の標準化に繋がる成果として評価できる。また、新たな研究費の獲得など、研究グループのキャパシティの向上が図られていることも評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

一般市民との対話を通じた科学技術コミュニケーション活動を活発に行うことで、研究成果に対する理解と関心を深めることを期待する。

以上